

【技術の名称】 鋼製座屈拘束ブレース ー平鋼を角形鋼管で座屈拘束した耐震・制振ブレースー（改定2）	性能証明番号：GBRC 性能証明 第13-21号 改2 性能証明発効日：2023年7月25日 【取得者】 大和ハウス工業株式会社 株式会社フジタ
--	---

【技術の概要】

本技術は、建築物の耐震・制振部材として使用される座屈拘束ブレースに関する技術である。本ブレースは、軸力を負担する平鋼の芯材、座屈拘束材（長方形断面の角形鋼管など）で構成される。芯材と座屈拘束材の接合面にはアンボンド材を貼付して芯材の軸力が座屈拘束材へ伝達されることを防止している。芯材にはスリットを設けてブレース耐力を調整することができる。本ブレースは、圧縮軸力下において引張軸力時と同等の耐力および変形能力を発揮できる。

【改定の内容】

新規：GBRC 性能証明 第13-21号（2013年11月26日）

改定：GBRC 性能証明 第13-21号 改（2015年1月22日）

- ・技術名称（副題）の変更
- ・ブレース芯材材料の追加（耐震：高強度鋼材、制振：建築構造用圧延鋼材および低降伏点鋼材）
- ・設計規定の追加（疲労設計、設計用係数、芯材強軸方向の接合板局部耐力の検討）
- ・内挿板の仕様を追加
- ・十字形接合部の仕様を追加

改定2：GBRC 性能証明 第13-21号 改2（2023年7月25日）

- ・大臣認定材料の認定番号を削除し、「大臣認定品」に記載を変更
- ・構面外座屈荷重算定式の誤記修正

【技術開発の趣旨】

本技術は鉄骨製作工場のみで製作可能な、低コストで高性能な座屈拘束ブレースであり、申込者の独自工法として開発されたものである。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者から提出された「鋼製座屈拘束ブレース 設計製作施工指針」に従って設計・製作・施工された鋼製座屈拘束ブレースは、以下の性能を有する。

- (1) 圧縮軸力下で引張軸力時と同等の降伏軸力を有する。（耐震・制振）
- (2) 圧縮軸力下で座屈しない筋かい材として取り扱うことができる。（耐震・制振）
- (3) 圧縮、引張の繰返し軸力に対し安定した復元力特性を有する。（耐震・制振）
- (4) 骨組の変形に追従できる十分な変形性能を有する。（耐震・制振）
- (5) 同指針で規定する累積塑性変形性能（疲労性能）を有する。（制振）

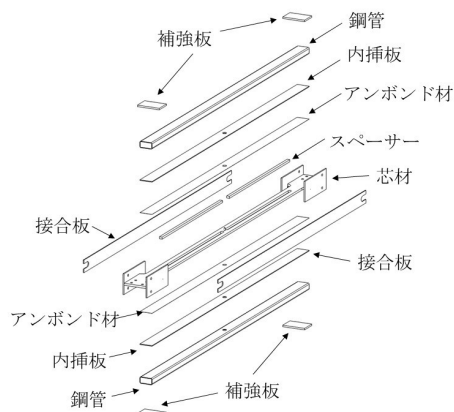


図1 部品図

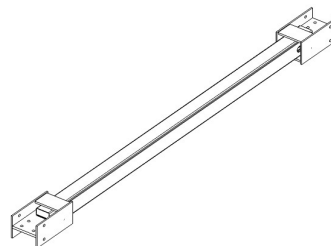
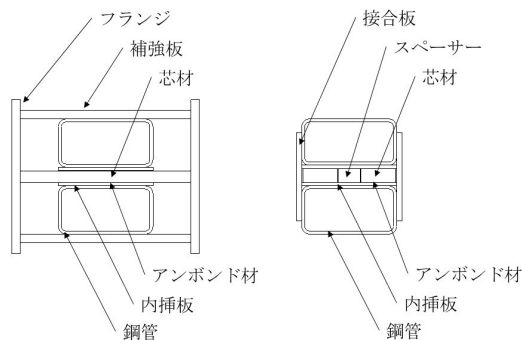


図2 全体図



端部断面図

塑性化部断面図

図3 断面図

【本技術の問合せ先】

大和ハウス工業株式会社 総合技術研究所 担当者：西
〒631-0801 奈良県奈良市左京六丁目6番地2
株式会社フジタ 技術センター 担当者：佐々木
〒243-0125 神奈川県厚木市小野 2025-1

E-mail：m306924@daiwahouse.jp
TEL：0742-70-2107 FAX：0742-72-3063
E-mail：yasaki@fujita.co.jp
TEL：046-250-7095 FAX：046-250-7139